

# 史料紹介 「フランス王国のマレシヨールセの規律、 指揮命令系統および職務に関する王令」(1760年4月19日)(1)

長崎大学 正本 忍

Royal ordinance on discipline, subordination and service of  
*Maréchaussées*, promulgated on 19th April 1760.

Shinobu Masamoto (Nagasaki University)

## Abstract

This is the text of the Royal ordinance on discipline, subordination and service of *Maréchaussées*, promulgated on 19th April 1760. We show the French text and Japanese one side by side. The *maréchaussée*, a mounted police, served both as a royal army, keeping order particularly in the countryside and on highways, and as a royal court (*prévôt's* court). In March 1720, the royal government tried to reform the *maréchaussée*. The second reform began in 1760. The Ordinance enhanced the royal ordinance of 16th March 1720 and stipulated concretely the functions of the mounted police for the first time as a law concerning the *maréchaussée*. It means that the functions of the *maréchaussée* were extensively informed in the Kingdom and that the *maréchaussée* was better situated in the governmental institution under the French Absolute Monarchy.

**Key Words:** France, Old Regime, Royal ordinance, police, *maréchaussée*

## はしがき

以下に訳出するのは、1760年4月19日に発布された「フランス王国のマレシヨールセの規律、指揮命令系統および職務に関する王令(Ordonnance du Roi, sur la discipline, subordination & service des Maréchaussées du Royaume)」の全文である。テキストは全17頁の印刷史料で、パリの東に隣接するヴァンセンヌの国防省歴史課古文書館(Service historique de la Défense)に所蔵されているものである<sup>(1)</sup>。

われわれはすでにマレシヨールセについていくつか論考を公表し、後述する1720年のマレシヨールセ改革関連の法令類を翻訳・紹介しているが、当該王令のテキストとその対訳を示すに当たって、マレシヨールセについて改めて若干説明し、当該王令の内容について大まか

な説明をしておこう。

18世紀フランスの治安維持を主として担ったのは、1667年に初めてパリに創設され、1699年に全国の主要都市に設置された治安総代理官 (lieutenant général de police)<sup>(2)</sup>と、1720年に全面的に改組され、王国全体に稠密に展開する騎馬警察隊、マレシヨーセ (maréchaussée) である。

基本的に都市部の治安維持を担当した治安総代理官に対して、マレシヨーセは、フランス元帥 (maréchal de France) の代官たるプレヴォ・デ・マレシヨ (prévôt des maréchaux) を中隊 (compagnie) の長とし、主として田園地帯、国王道路 (grand chemin) (≒幹線道路、街道) 上の治安維持を担う騎馬警察隊であり、国王軍の一部隊である。同時にマレシヨーセは、プレヴォ専決事件 (cas prévôtaux) ——浮浪、物乞い、国王道路上での窃盗、騒擾など——を最終審として裁く国王の特別裁判所 (プレヴォ裁判所) でもあった。

前述のように、1720年、マレシヨーセは全面的に改組される。王権は従来のマレシヨーセ中隊のほぼすべてを解体し、組織を新たに作り直すという大改革を断行するのである<sup>(3)</sup>。1720年3月および4月にいくつかの王令類が発布され、新生マレシヨーセの骨格は示された<sup>(4)</sup>。その後、マレシヨーセに関しては、1731年2月5日にマレシヨーセの裁判管轄を最終的に決定する国王宣言 (déclaration du Roi)<sup>(5)</sup>が発布されたのみで、関連する大きな法令は出されないままであった。

1760年4月19日の王令は、マレシヨーセに関わる18世紀後半に入って最初の重要かつ包括的な法令である。タイトルにあるように、その第1のポイントは、マレシヨーセの規律、指揮命令系統および職務に関して、マレシヨーセ改革時の1720年3月16日に発布された「マレシヨーセの指揮命令系統および規律に関する<sup>オールドナンス</sup>王令」(全17条)を、特に騎馬警察隊に関わる領域でさらに充実させた点である。第2の、そしてより重要と思われるのが、マレシヨーセに関する法令類としては初めて、騎馬警察隊の職務内容を具体的に規定した点である。前文でマレシヨーセの職務とその創設の目的を明示した上で、騎馬警察としてのマレシヨーセの職務を、通常の職務 (第3編)、特別の職務 (第4編)、および諸儀礼における職務 (第2編) という形で3つの編に分けて具体的に示している。このことはすなわち、マレシヨーセの職務が王国内に広く周知されたこと、そしてマレシヨーセという組織が王権の統治構造の中でより具体的に、より確実に位置づけられたことを意味する。

前文に続く本文は、第1編「指揮命令系統および規律について」(全28条)、第2編「マ

レシヨールセに課せられる表敬の義務」（全8条）、第3編「マレシヨールセの通常の任務」（全14条）、第4編「マレシヨールセの特別任務について」（全8条）から構成されている。その内容はおよそ以下の通りである。

## 前文

### 第1編 指揮命令系統および規律について

- 第1条 マレシヨールセに対するフランス元帥の指揮権
- 第2条 プレヴォの指揮権、プレヴォに対する服従
- 第3条 プレヴォおよび副官の採用手続
- 第4条 隊員の採用手続
- 第5条 プレヴォに対する、隊員からの任命手数料徴収の禁止
- 第6条 上級班長の人選
- 第7条 班長・班長補佐の人選
- 第8条 憲兵の採用条件
- 第9条 隊員の騎乗馬
- 第10条 プレヴォによる閲兵
- 第11条 副官による閲兵
- 第12条 上級班長の禁足処分に関する報告義務
- 第13条 閲兵記録への参加者のみの記載
- 第14条 閲兵記録への不参加理由の記載
- 第15条 閲兵記録への死亡者の記載
- 第16条 閲兵に関するプレヴォと地方長官の日程調整
- 第17条 プレヴォによる閲兵記録の送付
- 第18条 プレヴォに対する、閲兵記録への不実記載の禁止
- 第19条 班の指揮官による、憲兵の武器・装備・騎乗馬の検査
- 第20条 班の指揮官による憲兵の検査
- 第21条 未許可の勤務地離脱の禁止
- 第22条 隊員に対して勤務地離脱が認められる期間
- 第23条 複数の班の特別派遣

- 第24条 班の指揮官による勤務日誌の記載
- 第25条 副官による、警邏・特別出張日誌の提出
- 第26条 プレヴォによる、管轄区内の班の活動報告
- 第27条 将校・隊員の廢兵院への入所資格
- 第28条 病気の隊員の治療

## 第2編 マレシヨーセに課せられる表敬の義務

- 第1条 国王、王家等に対してマレシヨーセが表すべき敬意
- 第2条 プレヴォによる、都市に入る国王らの出迎え
- 第3条 プレヴォによる、都市に入る地方総督および地方総督代理の出迎え
- 第4条 公的儀式への分遣隊の派遣
- 第5条 国王、王族等の管区内通過時および滞在時のプレヴォの対応
- 第6条 管区内を通過する血統親王・血統内親王の護衛
- 第7条 管区内を通過する元帥の護衛の受け渡し
- 第8条 マレシヨーセが敬意を表す対象の限定

## 第3編 マレシヨーセの通常の職務

- 第1条 隊員による日常の警邏
- 第2条 日常の警邏の頻度と場所
- 第3条 現地の司法官、司祭、主要な住民による隊員の警邏の証明
- 第4条 隊員による定期市・市の警邏
- 第5条 班の指揮官自身による祭の警邏
- 第6条 疑わしき人物の逮捕
- 第7条 逮捕者の投獄、逮捕調書の作成、住民による逮捕調書への署名
- 第8条 隊員による逮捕者の収監記録への特記事項
- 第9条 班の指揮官による逮捕事由に関する調査、調書の作成
- 第10条 班の指揮官による駐在都市の警邏、外国人宿泊客の監視
- 第11条 外部からの命令に基づく出動
- 第12条 行軍の監視、隊からの離脱者の監視
- 第13条 脱走兵の逮捕・投獄

## 第14条 脱走兵逮捕の報告の流れ

## 第4編 マレシヨールセの特別の職務について

- 第1条 プレヴォによる、国王の命令の執行義務
- 第2条 国王命令の執行における、隊員のプレヴォへの服従義務
- 第3条 マレシヨールセ本来の職務に関係ない業務へのマレシヨールセの動員の禁止
- 第4条 国王御用金輸送の護衛
- 第5条 隊員による被疑者の収監記録への記載と令状送達の制限
- 第6条 隊員への暴行に対する措置
- 第7条 マレシヨールセの職務に関する先行する諸王令および本王令の遵守
- 第8条 当該王令の厳密な遵守と実施

この後、マレシヨールセの組織と活動は当該王令を基礎として1768～1769年、1778年の改革を経てよりいっそう整備かつ明確化されるが<sup>(6)</sup>、1720年に作られた骨格自体は、大革命に至るまで基本的に変わることはなかった。

以下、訳文と原文を併置して、1760年4月19日の王令を全訳する。なお、原文の綴りおよび綴り字記号についてはオリジナルを尊重している。

## 注

- (1) Service historique de la Défense, X<sup>F</sup> 1.
- (2) 治安総代理官（警視総監の訳もある）については、Aubouin (Michel), Teyssier (Arnaud) et Tulard (Jean), *Histoire et dictionnaire de la police du moyen âge à nos jours*, Paris, 2005, pp. 163-169. 千葉治男「ジャック・プーシェの業績 —— 忘れられた碩学の遺産 (3)」(『ヨーロッパ文化研究』、成城大学、第17集、1998年、5～84頁) (後に千葉治男『知識人とフランス革命 —— 忘れられた碩学ジャック・プーシェの場合』刀水書房、2003年に再録)。高澤紀恵「近隣関係・都市・王権 —— 16～18世紀パリ」(『岩波講座世界歴史16 主権国家と啓蒙 16～18世紀』岩波書店、1999年、171～193頁)、第2章。同「パリのポリス改革 —— 1666～1667」(『思想』、第959号、2004年、62～87頁) (いずれも後に高澤紀恵『近世パリに生きる —— ソシアビリテと秩序』岩波書店、2008年に再録)等を参照。
- (3) マレシヨールセおよび1720年のマレシヨールセ改革については、拙稿「1720年のマレシヨールセ改革 —— フランス絶対王政の統治構造との関連から」(『史学雑誌』第110編第2号、2001年、1～36頁)参照。
- (4) 「史料紹介 『全王国におけるマレシヨールセのすべての将校・プレヴォ裁判役人、隊員の官職の廃止、及び新しいマレシヨールセの中隊創設を定める王令』(1720年3月)」(『西洋史学論集』第45号、2007年12月、95～111頁)、同「史料紹介 『マレシヨールセの指揮命令系統及び規律に関する王令』(1720年3月16日)」(『総合環境研究』第10巻第2号、2008年、67～78頁)、同「史料紹介 1720年のマレシヨールセ改革に関連する2つの国王宣言：『マレシヨールセの新しい中隊に関する規則を記した』国

王宣言（1720年3月28日）、『新マレシオーセに関する』国王宣言（1720年4月9日）」（『総合環境研究』第11巻第2号、2009年、59～80頁）。

- (5) Déclaration du Roi, « *Sur les cas Prevôtiaux ou Présidiaux* » du 5 février 1731, Service historique de la Défense, X<sup>F</sup> 1.
- (6) Larrieu (Louis), *Histoire de la maréchaussée et de la gendarmerie des origines à la Quatrième République*, Ivry / Maison-Alfort, 2002, pp. 144-148.

【付記】 本稿は、平成28～30（2016～18）年度科学研究費補助金「絶対王政期フランスの官僚制再考：マレシオーセに見る売官制廃止の挑戦」（基盤研究(C)、研究代表者：正本忍）の研究成果の一部である。

「フランス王国のマレシヨールセの規律、指揮命令系統および職務に関する王令」(1760年4月19日)

王命により

マレシヨールセの職務の目的とは、国内にいる悪人、その他の敵を探索しかつ訴追し、国王道路 (*grand chemin*) の自由で安全な往来を保つことによって悪人たちの攻撃から旅人を保護し、行軍を監視し、祭やその他の集まりでの良好な秩序を監視し、どのような状況にあっても安全と公共の安寧を維持することであるはずである。国王陛下は、臣民がマレシヨールセの職務に関して期待できる以上のような利益のすべてをマレシヨールセが提供しているわけではないと知らされ、また、先王たちに倣って、マレシヨールセの業務を改善し、同じように重要な一つの目的に関する自らの意志の証しをとりたてて示すことをお望みになり、昨年6月29日付の国王諮問会議裁決によって、マレシヨールセの指揮命令系統 (subordination) と規律に関する1720年の王令<sup>エディ</sup>および王<sup>オールドナンス</sup>令<sup>1)</sup>の執行を命じられた。

しかしながら、マレシヨールセの職務が安全と公共の安寧の維持——このためにマレシヨールセは創設されているのだが——にまったく関わらない時はいつでも、彼らに関係ない職務に励んだ結果、マレシヨールセが本務以外の職務に動員されて公益を犠牲にする事態が起こらないようにするためには、この問題に関して先に交付された諸王令・王<sup>エディ</sup>令<sup>オールドナンス</sup>および国王宣言の条文を想起しつつも、より個別的に陛下のご意向をご説明になり、統一された不変の規則を確立なさるべきである、また、その際にはマレシヨールセ中隊の指揮命令系統と規律に関してのみならず、マレシヨールセが払うべき敬意、そして彼らの職務の様々な部分に関しても同様にそのようにすべきである、との進言が国王陛下に為された。陛下は、この進言に基づいて、以下のように命じられたし、お命じになられるものである。

**ORDONNANCE DU ROI**, Sur la discipline, subordination & service des Maréchaussée du Royaume. Du 19 Avril 1760.

*DE PAR LE ROI.*

SA MAJESTÉ étant informée que les Maréchaussées ne procurent point à ses Sujets tous les avantages qu'ils peuvent attendre de leur service, dont l'objet doit être de rechercher & poursuivre les malfaiteurs & autres ennemis intérieurs de l'État, garantir les Voyageurs de leurs entreprises, en tenant les grands chemins libres & assurés, observer les marches des troupes, veiller au bon ordre dans les fêtes & autres assemblées, & maintenir en toute circonstance la sûreté & la tranquillité publique : Et desirant, à l'exemple des Rois ses prédécesseurs, perfectionner le service de ses troupes, & donner en particulier des marques de son attention sur un objet aussi important, Elle auroit, par arrêt de son Conseil du 29 juin de l'année dernière, ordonné l'exécution des édit & ordonnance de 1720, concernant la subordination & discipline des Maréchaussées ; mais sur les représentations qui lui ont été faites qu'en rappelant les dispositions des précédens édits, déclarations & ordonnances rendus sur cette matière, il seroit nécessaire d'expliquer plus particulièrement ses intentions, & d'établir une règle constante & uniforme, non seulement sur la subordination & discipline des compagnies de Maréchaussées, mais encore sur les honneurs dûs par ces troupes, & sur les différentes parties de leur service, afin d'empêcher qu'elles n'en puissent être distraites au préjudice du bien public, en se livrant à des fonctions qui leur sont étrangères, toutes les fois qu'elles n'ont aucun rapport au maintien de la sûreté & de la tranquillité publique, pour lequel les Maréchaussées ont été établies, SA MAJESTÉ a ordonné & ordonne ce qui suit :

## 第1編

### 指揮命令系統および規律について

#### 第1条

マレシヨールセの中隊は、1720年3月の新マレシヨールセ創設王令第6条に従って、引き続きフランス元帥殿の指揮下にあるものである<sup>(2)</sup>。

#### 第2条

統括プレヴオ (prévôt général) (以下、プレヴオと略) は、1720年3月16日の王<sup>オールドナンス</sup>令第1条<sup>(3)</sup>に従って、各自の管轄区 (département) において、マレシヨールセの副官、上級班長、班長、班長補佐、憲兵に対する指揮権を今後も持つことになる。国王陛下は、上述の将校 (副官) および隊員 (上級班長、班長、班長補佐、憲兵) (*Officiers & Cavaliers*) <sup>(4)</sup>に対して、プレヴオに従うよう厳命される。違反に対しては、上述の条項に記された処罰<sup>(5)</sup>が科せられる。

#### 第3条

国王陛下は、プレヴオおよび副官の職務の遂行に最適の人物を知るべく、今後はフランス元帥によって3名が推薦され、空席になっているその職にふさわしいと陛下が判断される人物をその3名から自ら選ばれることをお望みであり、そのように意図しておられる。

陛下に選ばれた人物は、陸軍を管轄する国務卿 (陸軍卿のこと。以下、陸軍卿と記す) <sup>(6)</sup>の証明書に基づいて彼に発送される官職叙任状 (provisions) を受け取った後、フランス元帥のもとに赴かねばならない。これはフランス元帥の執行委任状 (attache) を受け取り、その後で通常の様子でコネタブリ=マレシヨールセ (以下、コネタブリと略記) において受け入れられる<sup>(7)</sup>ためである。

#### 第4条

上級班長、班長、班長補佐、憲兵の職は、今後も、1720年の新マレシヨールセ創設の王令第5<sup>エディ</sup>

## TITRE PREMIER

### De la subordination & discipline

#### ARTICLE PREMIER

LES compagnies de Maréchaussées continueront d'être sous le commandement des S.<sup>rs</sup> [sieurs] Maréchaux de France, conformément à l'article VI de l'édit de création du mois de mars 1720.

#### II.

LES Prevôts généraux continueront d'avoir le commandement, chacun dans leurs département, sur les Lieutenans, Exempts, Brigadiers, Sous-brigadiers & Cavaliers desdites Maréchaussées, conformément à l'article I.<sup>er</sup> [premier] de l'ordonnance du 16 mai (sic) 1720 : Enjoint Sa Majesté auxdits Officiers & Cavaliers de leur obéir, sous les peines portées par ledit article.

#### III.

ET pour mettre Sa Majesté à portée de connoître les sujets les plus propres à remplir les charges de Prevôts & de Lieutenans desdites Maréchaussées, Elle veut & entend qu'à l'avenir il lui soit présenté, par les Maréchaux de France, trois sujets sur lesquels Sa Majesté choisira celui qu'Elle jugera à propos pour être pourvu de la charge vacante, lequel après l'obtention des provisions qui lui seront expédiées sur le certificat du Secrétaire d'État ayant le département de la guerre, sera tenu de se présenter aux Maréchaux de France pour avoir leur attache & être ensuite reçu au siège de la Connétable en la manière ordinaire.

#### IV

LES places d'Exempt, Brigadiers, Sous-brigadiers & Cavaliers, continueront d'être

条に従って、陸軍卿が発給する、大印璽を施された親任状 (commission) に基づいて行使される。国王陛下は、プレヴォから推薦された人物に対して当該親任状を発給させることになる。これらの人物はその後、事前にプレヴォによる生活・品行の調査 (information de vie et mœurs) を受けた上で、プレヴォによって、一切の料金を取られることなく、受け入れられねばならない。

#### 第5条

国王陛下は、プレヴォに対して、彼らが上級班長、班長、班長補佐および憲兵の職に推薦する人物に一切の任命手数料を要求することを禁止なさるし、また、彼らが自発的に申し出た場合であっても、任命手数料の受け取りを禁じられる<sup>(8)</sup>。違反の場合には、1720年3月16日の王令第2条に従って、フランス元帥殿によって命ぜられる処罰<sup>(9)</sup>、さらに元帥殿たちが妥当と判断すれば、職務停止の処罰さえもが科せられる。

#### 第6条

上級班長は、新マレシヨールセ創設の王令以降、実施されているように、班長と班長補佐の中から、および陛下の軍隊の中から、交互に人選される。

#### 第7条

班長と班長補佐は、その人物が（班長と班長補佐の）職務の都合に合う特別な理由のために優先的に任命されるのではなくれば、勤続年数によって人選される。

#### 第8条

憲兵の職は、品行方正 (bonnes mœurs) で、最低でも5ピエ4ブス (約173 cm) の身長があり、読み書きができ、さらに、可能な限り、国王軍のマレシヨールセとは別の部隊ですでに軍務に就いていた人物にしか与えられない<sup>(10)</sup>。

exercées conformément à l'article V de l'édit de création du mois de mars 1720, sur des commissions expédiées par le Secrétaire d'État ayant le département de la guerre, & scellées du grand sceau, lesquelles Sa Majesté fera délivrer à ceux qui lui seront proposés par le Prevôt général du département, & ils seront ensuite reçus par ledit Prevôt, sans aucuns frais, information de vie & mœurs par lui préalablement faite.

#### V.

FAIT défenses Sa Majesté auxdits Prevôts généraux, d'exiger de ceux qu'ils proposeront pour les places d'Exempt, Brigadier, Sous-brigadier & Cavalier, aucun droit de nomination, ni d'en recevoir, quand il leur en seroit volontairement offert, à peine de punition, telle qu'elle sera ordonnée par les S.<sup>rs</sup> Maréchaux de France, même d'être interdits, s'ils le jugent à propos, conformément à l'article II de l'ordonnance du 16 mars 1720.

#### VI.

LES Exempts seront pris alternativement parmi les Brigadiers & Sous-brigadiers des Maréchaussées, & dans les troupes de Sa Majesté, ainsi qu'il s'est pratiqué depuis l'édit de création.

#### VII.

LES Brigadiers & Sous-brigadiers viendront à ces places par leur ancienneté, à moins que d'autres ne leur soient préférés par des raisons particulières & tendantes au bien du service.

#### VIII.

LES places de Cavaliers ne seront données qu'à des personnes de bonnes mœurs, d'une taille de cinq pieds quatre pouces au moins, qui sauraient lire & écrire, & qui, autant qu'il sera possible, auront déjà servi dans les autres troupes de Sa Majesté.

第9条

隊員は、竜騎兵の騎乗馬と同じ体高<sup>(11)</sup>の、鹿毛あるいは黒毛の騎乗馬1頭を自ら所有し、制服支給の際に彼らに与えられる馬衣と銃鞍に応じて、統一されたやり方で馬具をつけなければならない。

第10条

国王陛下は、必要がある場合に限り、マレシヨールセの規律に関する1720年3月16日の王令第6条および第7条<sup>(12)</sup>を適用せず、各プレヴォが今後、各自の管轄区内にある駐屯都市・駐屯地を毎年2回巡回することをお望みであり、そのように意図しておられる。これは副官、上級班長、班長、班長補佐、憲兵を閲兵するためであり、職務が厳密に遂行されているか、副官および隊員 (*Officers & Cavaliers*) が彼らの義務を果たしているか、彼らの騎乗馬、武器、装備が良好な状態に保たれているかを検査するためである。プレヴォはこれら閲兵について報告書を作成しなければならない。すなわち、フランス元帥殿にはそのうちの1通 (*un double*)<sup>(13)</sup>のみを送付し、陸軍卿に別の1通を送付、そしてもう1通を自身の手許に保管しておかねばならない。

第11条

国王陛下は、同様に必要がある場合に限り、1720年3月16日の王令第7条および第9条<sup>(14)</sup>を適用せずに、各駐在地の副官が、今後、2ヶ月ごとに各班の駐屯地で、上級班長、班長、班長補佐、および憲兵を閲兵することを、そしてその際、副官が、職務が厳密に遂行されているか、班の指揮官と憲兵 (*les Officers et Cavaliers*) が義務を果たしているか、武器、装備、騎乗馬が良好な状態にあるか、騎乗馬が賃借りあるいは貸借されたものでないか、について監視することをお望みであり、そのように意図しておられる。上述の閲兵について、陛下は、隊員の職務の何らかの部分において規則違反が見られた場合、妥当と判断する期間、彼らを処罰すること、すなわち憲兵に対しては投獄によって、班

IX.

LES Cavaliers seront tenus d'avoir un cheval poil bai ou noir, à eux appartenant de la taille de ceux des Dragons, & de le harnacher d'une manière uniforme, d'après la housse & les chaperons qui leur seront donnés lors de l'habillement.

X.

DÉROGEANT, en tant que de besoin seroit, aux articles VI & VII de l'ordonnance de discipline des Maréchaussées, du 16 mars 1720, veut & entend Sa Majesté qu'à l'avenir chaque Prevôt général soit tenu de faire deux tournées tous les ans dans les villes & lieux de résidence de son département, à l'effet de faire la revûe des Lieutenans, Exempts, Brigadiers, Sous-brigadiers & Cavaliers, d'examiner si le service est fait exactement, si les Officiers & Cavaliers remplissent leur devoir, & si les chevaux, armes & équipages sont en bon état ; lesquelles revûes ledit Prevôt général certifiera ; il en enverra seulement un double aux S.<sup>rs</sup> Maréchaux de France, un autre au Secrétaire d'État ayant le département de la guerre, & un autre restera ès mains dudit Prevôt général.

XI.

DÉROGEANT pareillement aux articles VII & IX de la même ordonnance du 16 mars 1720, veut & entend Sa Majesté qu'à l'avenir les Lieutenans de chaque résidence soient tenus de faire tous les deux mois dans le chef-lieu de chaque brigade, la revûe des Exempts, Brigadiers, Sous-brigadiers & Cavaliers, dans lesquelles ils observeont si le service est fait exactement, si les Officiers & Cavaliers remplissent leur devoir ; si les armes, les équipages & les chevaux des brigades sont en bon état, si les chevaux ne sont pas loués ou empruntés pour lesdites revûes, leur donnant pouvoir Sa Majesté, de punir pour le temps qu'ils jugeront convenable, savoir, les Cavaliers de prison, les Brigadiers & Sous-brigadiers des arrêts, lorsqu'ils

長と班長補佐に対しては禁足 (arrêt) によって処罰する権限を、副官に付与された。職務上咎めるべき点があると副官が判断し得る上級班長については、副官はその旨、プレヴォに報告し、前述の閲兵の際に気付いた点について知らせなければならない。なお、その報告書の1通はプレヴォに送付され、もう1通は副官の手許に保管される。

#### 第12条

プレヴォあるいは彼の不在時には（中隊を）指揮している者は、上級班長を禁足処分にした際、その旨、フランス元帥殿および陸軍卿に報告しなければならない。

#### 第13条

副官は閲兵に参加した上級班長、班長、班長補佐、憲兵のみを閲兵記録に記載しなければならない<sup>(15)</sup>。違反した副官は、3,000 リーヴルの罰金を科せられ、失職することになる。この処罰は単なる威嚇と見なされるべきではなく、実施される。

#### 第14条

副官は、病気、職務による不在、あるいは帰休許可 (congé) のために閲兵に参加できない班の指揮官と憲兵 (*Officiers & Cavaliers*) に関して、彼らの不参加の理由を閲兵記録に明示しなければならない。

#### 第15条

さらに、副官は、死亡が判明した班の指揮官と憲兵 (*Officiers & Cavaliers*) に関して彼らの死を証明し、しかるべき手続を踏んで送付してもらった班の指揮官 (*Officiers*)<sup>(16)</sup>の死亡証明書の写しを閲兵記録に添付しなければならない。

#### 第16条

プレヴォが閲兵を実施する場所に地方長官殿

les trouveront en défaut sur quelques-unes des parties de leur service. Et à l'égard des Exempts qu'ils pourront trouver repréhensibles sur leur service, ils en rendront compte au Prevôt général du département, & l'informeront de ce qu'ils auront observé dans leurs revûes, dont un double sera envoyé au Prevôt général, & l'autre restera entre leurs mains.

#### XII.

LORSQUE le Prevôt général, ou celui qui commandera en son absence, aura mis aux arrêts quelqu'un des Exempts, il en rendra compte aux S.<sup>rs</sup> Maréchaux de France & au Secrétaire d'État ayant le département de la guerre.

#### XIII.

LES Lieutenans n'employeront dans leurs revûes que les Exempts, Brigadiers, Sous-brigadiers & Cavaliers qui seront présents, à peine de trois mille livres d'amende, & de perte de leur charge, sans que ladite peine puisse être réputée comminatoire.

#### XIV.

A l'égard des Officiers & Cavaliers qui, pour cause de maladie ou d'absence pour le service, ou par congé ne pourroient se trouver auxdites revûes, les Lieutenans seront tenus de constater dans leurs états de revûe, la cause de l'absence desdits Officiers & Cavaliers.

#### XV.

SERONT encore tenus les Lieutenans de constater la mort des Officiers & Cavaliers qu'ils trouveront décédés, & de joindre à leurs états de revûe l'extrait mortuaire desdites Officiers qu'ils se feront expédier en bonne forme.

#### XVI.

ET en cas que les S.<sup>rs</sup> Intendants se trouvent sur

がいる場合、プレヴォは、閲兵の実施希望日をその4日前までに地方長官殿に知らせ、閲兵が地方長官の立ち会いの下に実施され、かつ彼によって検査されるように、閲兵の実施時間の約束を地方長官から取り付けなければならない。しかしながら、以上はすべて、この件に関して、地方総督、その不在の場合は軍司令官 (commandant) の命令を受けた後での話である。国王陛下は、地方長官が閲兵の場所に居合わない場合には、プレヴォあるいはその副官が、閲兵への立ち会い、および閲兵記録への署名のために、地方長官補佐 (subdélégué) を閲兵に呼ぶことを、望んでおられる。

第17条

プレヴォは3ヶ月ごとに、陸軍卿とマレシヨーセ関連の支払いを担当する財務官に対して、彼の管轄区の将校・裁判役人および隊員 (Officiers & Cavaliers) 全員の閲兵記録を送付しなければならない。マレシヨーセの成員は、当該報告書に基づいて給与を支払われることになるし、閲兵記録は地方長官あるいは地方長官補佐によって検査印を施される (viser)。

第18条

国王陛下は、プレヴォに対して、当該王令 (第1編) 第13条に規定された (副官による) 閲兵記録において閲兵に参加しなかったとされていれば、あるいは上述の閲兵記録によれば、正当な理由による閲兵への不参加でないようであれば、上級班長、班長、班長補佐、憲兵の誰であれ、マレシヨーセ関連の支払い担当財務官への報告書に記載することを禁じられる。違反に対しては、3,000 リーヴルの罰金と失職が科せられる。

第19条

上級班長、班長、班長補佐は、毎月2回、武器・装備・騎乗馬が良好な状態にあるかどうかを検査するために、各自の駐屯地に班のメンバ

les lieux dans lesquels les Prevôts généraux feront leurs revûes, lesdits Prevôts seront tenus d'avertir quatre jours d'avance lesdits S.<sup>rs</sup> Intendants, du jour auquel ils voudront faire leurs revûes, & de prendre d'eux l'heure à laquelle elle sera faite, pour être lesdites revûes faites en leur présence, & par eux visées ; le tout néanmoins après en avoir pris l'ordre du Gouverneur de la province, ou du Commandant en son absence : Et où lesdits S.<sup>rs</sup> Intendants ne seroient pas sur les lieux, veut Sa Majesté que lesdits Prevôts généraux ou leurs Lieutenans soient tenus d'y appeler des Subdélégués pour être présens auxdites revûes, & icelles signées d'eux.

XVII.

LES Prevôts généraux enverront tous les trois mois, au Secrétaire d'État ayant le département de la guerre, & au Trésorier chargé du payement des Maréchaussées, un état de revûe de tous les Officiers & Cavaliers de leur département, lesquels seront payées sur ledit état, qui sera visé par l'Intendant ou son Subdélégué.

XVIII.

DÉFEND Sa Majesté auxdits Prevôts généraux d'employer dans ledit état aucun Exempt, Brigadier, Sous-brigadier & Cavalier, qu'il n'ait été passé présent dans les états de revûe prescrits par l'article XIII de la présente ordonnance, ou qu'il n'apparaisse par lesdits états qu'il n'a pû se trouver auxdites revûes, pour des causes légitimes, à peine de trois mille livres d'amende, & de perte de leurs charges.

XIX.

LES Exempts, Brigadiers & Sous-brigadiers feront assembler leur brigade, chacun dans leur résidence, deux fois par mois, à l'effet de vérifier si

一を集めなければならない。また、この検査結果については、彼らの駐屯地を管轄する副官に報告することになる。国王陛下は、上級班長、班長、班長補佐に対して、（配下の）憲兵たちが騎乗馬を借りしていないか、貸していないかを監視し、彼らの駐屯地を管轄する副官に報告するよう厳命されるものである。

#### 第20条

複数の班が駐屯する都市においては、階級が高い班の指揮官（*Officier*）、あるいは階級が同じである場合にはマレシヨールセでの勤務歴が古い班の指揮官が、第19条に従ってそれらの班を集めさせる責を負う。

#### 第21条

プレヴォは、その地方の軍司令官（*commandant de la province*）の許可および王権による帰休許可（*congé de la Cour*）<sup>(17)</sup>を得なければ、自分の管轄区を留守にすることはできない。副官、上級班長、班長、班長補佐、憲兵もまた、1720年3月16日の王令第11条にあるように、プレヴォの書面による帰休許可を取得しなければ、駐屯地を離れてはならない。違反に対する処分は、上記王令の通り<sup>(18)</sup>である。

#### 第22条

しかしながら、上級班長、班長、班長補佐および憲兵は、彼らの駐屯地を管轄する副官の書面による許可を得て、8日間のみ駐屯地を不在にすることができる。憲兵は、所属する班の指揮官の書面による許可を得た場合、4日間のみ駐屯地を留守にできる。以上の許可について、上級班長、班長、班長補佐は彼らの管区を管轄する副官に報告し、副官はプレヴォに報告しなければならない。

#### 第23条

1720年3月16日の王令第8条に従って、職務のために複数の班の特別な派遣が求められる

les armes, équipages & chevaux sont en bon état, dont ils rendront compte au Lieutenant de la résidence : Enjoint Sa Majesté auxdits Exempts, Brigadiers & Sous-brigadiers de veiller & tenir la main à ce que les Cavaliers ne louent, ni ne prêtent leurs chevaux, & d'en informer le Lieutenant de leur résidence.

#### XX.

DANS les villes où il y aura plusieurs brigades, l'Officier supérieur en grade, ou bien, à grade égal, l'ancien de service dans les Maréchaussées, sera chargé de faire assembler lesdites brigades, conformément à l'article précédent.

#### XXI.

NE pourront les Prevôts généraux s'absenter de leurs départemens, sans la permission du Commandant de la province, & un congé de la Cour : Ne pourront pareillement les Lieutenans, Exempts, Brigadiers, Sous-brigadiers & Cavaliers sortir du lieu de leur résidence, sans un congé par écrit du Prevôt général, conformément à l'article XI de l'ordonnance du 16 mars 1720 & sous les peines y portées.

#### XXII.

POURRONT néanmoins les Exempts, Brigadiers, Sous-brigadiers & Cavaliers s'absenter du lieu de leur résidence, pour huit jours seulement, avec une permission par écrit du Lieutenant de ladite résidence, & les Cavaliers pour quatre jours seulement, avec une permission par écrit du Commandant de leur brigade, desquelles permissions il sera rendu compte par les Exempts, Brigadiers & Sous-brigadiers au Lieutenant de leur district, & par ce dernier au Prevôt général.

#### XXIII.

CONFORMÉMENT à l'article VIII de l'ordonnance du 16 mars 1720, lorsque le service

際には、国王陛下は、副官が、プレヴォから書面で受け取った命令に基づいて、彼の管轄区内の複数の班あるいはすべての班でさえも動員し (*prendre*)、職務のために必要なあらゆる場所に、上述の命令に記されている期間、それらの班を派遣できることをお望みであり、そのように意図しておられる。陛下は、それらの班の指揮官および憲兵 (*Officiers & Cavalier*) に対して、上記の命令を委ねられた副官に服従するよう、厳命する。副官は、その命令の執行について、プレヴォに対して定期的に報告しなければならない。プレヴォは、上述の命令および派遣に関して、陸軍卿およびプレヴォに命令を発したその他の國務卿に対して報告することになる。

#### 第 24 条

上級班長、班長および班長補佐は日誌をつけ、その日誌には、彼らが行った通常の日課 (*ournée*)、および憲兵が職務のために動員された特別な出張について、記載するよう留意しなければならない。班の指揮官は当該日誌を毎月、彼らの管轄区を担当する副官に提出することになる。

#### 第 25 条

副官は毎月、彼の管轄区内にある諸班が職務遂行のために実施した警邏および特別出張の日誌を、プレヴォに送付しなければならない。

#### 第 26 条

プレヴォは、2ヶ月ごとに陸軍卿に対して、自分の管轄区の班に関する報告書を提出しなければならない。当該報告書には、日々の警邏、班が動員された職務が記されることになる。また、プレヴォは、知り得た重要な事柄に関して陸軍卿に報告する義務がある。

exigera quelque détachement extraordinaire de plusieurs brigades, veut & entend Sa Majesté que sur l'ordre que les Lieutenans en recevront par écrit du Prevôt général, ils puissent prendre plusieurs & même toutes les brigades du département, & les conduire par-tout où le service le demandera, & pour le nombre de jours qui seront portés par ledit ordre : Enjoint Sa Majesté aux Officiers & Cavaliers desdites brigades d'obéir au Lieutenant qui sera chargé dudit ordre, & qui informera régulièrement le Prevôt général de son exécution, desquels ordre & détachement il sera rendu compte, par le Prevôt, au Secrétaire d'État ayant le département de la guerre, & à celui des autres Secrétaires d'État qui lui aura donné des ordres.

#### XXIV.

IL sera tenu un journal par les Exempts, Brigadiers & Sous-brigadiers, sur lequel ils auront soin d'inscrire les journées ordinaires qu'ils auront faites, & les courses extraordinaires auxquelles les Cavaliers auront été employés pour le service, lequel journal ils remettront tous les mois au Lieutenant de leur district.

#### XXV.

LES Lieutenans enverront tous les mois au Prevôt général du département, les journaux des tournées & courses extraordinaires que les brigades de leur district auront faites pour le service.

#### XXVI.

LES Prevôts généraux enverront tous les deux mois au Secrétaire d'État ayant le département de la guerre, les états des brigades de leur département, dans lesquels il sera fait mention des tournées journalières, & du service auquel elles auront été employées, & lesdits Prevôts généraux l'informeront de ce qu'ils auront appris d'intéressant.

## 第27条

国王陛下は、1720年3月16日の王令第16条に従って、将校と隊員 (*les Officiers & Cavaliers*) が職務を続けられなくなった時、廃兵院 (*hôtel des Invalides*) への入所が許可されることをお望みであり、そのように意図しておられる。

すなわち、プレヴォに関しては、騎兵部隊の連隊長副官 (中佐) (*lieutenant-colonel*) と同様に、現職の中隊長 (*capitaine en pied*)<sup>(19)</sup>として、およびプレヴォとして、20年間勤務した場合。

副官に関しては、中隊長と同様に、マレシヨールセの副官および歩兵の中隊長副官 (中尉) (*lieutenant*) として20年間勤務した場合。

上級班長に関しては、中隊長副官 (*lieutenant*) として20年間勤務した場合。ただし、20年間のうちの10年間は、どの部隊であれ正規軍 (*corps de troupes réglées*) の将校の階級にいなければならないし、あるいはマレシヨールセの上級班長を10年間務めなければならない。

班長、班長補佐、憲兵に関しては、廃兵院の3番目の階層<sup>(20)</sup>に位置づけられる。

## 第28条

国王陛下は、病気の隊員が彼らの駐屯地にある病院に、あるいは駐屯地に病院がない場合には最も近くの病院に収容され、国王軍のその他の部隊に対する慣行に従ってそこで治療されるよう、お命じになるものである。このために、上述の病院で治療された隊員の俸給から、1日につき7ソルが差し引かれることとなる。

## 第2編

マレシヨールセに課せられる表敬の義務

## 第1条

マレシヨールセの中隊は、国王、王家、血統親王、およびフランス元帥殿に対して、敬意を表わさなければならない。

## XXVII.

VEUT & entend Sa Majesté que, conformément à l'article XVI de l'ordonnance du 16 mars 1720, les Officiers & Cavaliers de Maréchaussée soient admis à l'hôtel des Invalides, lorsqu'ils seront hors d'état de continuer leurs services : savoir, les Prevôts généraux comme Lieutenans-colonels de Cavaliers, lorsqu'ils auront servi tant en la qualité de Capitaine en pied, qu'en celle de Prevôt général, le terme & espace de vingt ans.

Les Lieutenans, comme Capitaines, après vingt ans de service, tant en qualité de Lieutenant de Maréchaussée qu'en celle de Lieutenant en pied.

Les Exempts, en qualité de Lieutenans, après vingt ans de service, dont il faudra qu'il y en ait dix avec rang d'Officier, dans quelque corps de troupes réglées que ce soit, ou dix dans la Maréchaussée en qualité d'Exempt.

Et les Brigadiers, Sous-brigadiers & Cavaliers, dans la troisième classe dudit Hôtel.

## XXVIII.

ORDONNE Sa Majesté que les Cavaliers de Maréchaussée malades, seront reçus aux Hôpitaux des lieux de leur résidence, & s'il n'y en a point, à l'Hôpital le plus prochain, pour y être traités suivant les usages pratiqués pour les autres troupes de Sa Majesté : & sera fait en conséquence, à chaque Cavalier qui aura été soigné esdits Hôpitaux, une retenue de sept sols par jour sur la solde.

## TITRE SECONDE.

Des honneurs dûs par les Maréchaussées

## ARTICLE PREMIER.

LES compagnies de Maréchaussée rendront les honneurs au Roi, à la famille Royale, aux Princes du Sang & aux S.<sup>ts</sup> Maréchaux de France.

第2条

プレヴォは、国王、王妃、王家および血統親王が彼の管轄区内の諸都市に入る際<sup>(21)</sup>、彼の中隊の先頭で騎乗して迎えねばならない。

第3条

同様に、プレヴォは、地方総督および地方総督代理 (lieutenant général) が都市に入る当日のみ、および彼らが都市に迎え入れられる当日のみ、彼の中隊の先頭で騎乗して迎えねばならない。

第4条

諸法院 (Cours) の (活動期の) 再開の際、およびその他の公的な儀式の際、プレヴォあるいは彼の不在時に指揮を執る人物は、1724年1月8日の国王諮問会議裁決の規定に従って、主席法院長 (premier président) あるいは法院の長を務める人物によって (あらかじめ) 通告されていた時刻に、副官1名が指揮する分遣隊を上掲の儀式に参加させねばならない。この分遣隊は、上述の諸法院の所在都市に駐屯する班より少ない数の班で構成されてはならない。

第5条

国王、王妃、王族が王国の様々な都市を通過される際、および上述の方々がそれらの都市に滞在される間、各管区のプレヴォ、および彼が不在の場合には当該管区の古参の副官は、道のりの安全のために陸軍卿が動員すべきだと判断したすべての班を指揮しなければならない。また、彼は、(事前に) 指定されていた宿营地 (quartier) に一つないし複数の班とともに待機することになる。

第6条

プレヴォは、血統親王・血統内親王のどなたかが彼の管区内に到着されたとの連絡を受けると、諸班が進路上で班から班へと担当を受け

II.

LES Prevôts généraux seront tenus de monter à cheval, à la tête de leur troupe, dans les villes de leur département, lors des entrées du Roi, de la Reine, de la famille Royal & des Princes du Sang.

III.

SERONT pareillement tenus les Prevôts généraux, de monter à cheval à la tête de leur troupe, seulement le jour de l'entrée & réception des Gouverneurs & Lieutenans généraux des Provinces.

IV.

LORS des rentrées des Cours, & autres cérémonies publiques, le Prevôt général, ou celui qui commandera en son absence, sera tenu de faire trouver auxdites cérémonies, à l'heure qui lui aura été indiquée par le Premier Président ou par celui qui présidera la Compagnie, un détachement commandé par un Lieutenant, conformément à ce qui est prescrit par l'arrêt du Conseil d'État du 8 janvier 1724, lequel détachement ne pourra être composé de moins que des brigades établies dans la ville de la résidence desdites Cours.

V.

LORS du passage du Roi, de la Reine & de la famille Royale, & pendant leur séjour dans les différentes villes du Royaume, le Prevôt général de chaque département, & en son absence l'ancien Lieutenant de ce département, commandera toutes les brigades que le Secrétaire d'État ayant le département de la guerre, aura jugé à propos d'assembler pour la sûreté des chemins, & il se tiendra avec une ou plusieurs brigades, dans le quartier qui lui aura été indiqué.

VI.

SUR l'avis que les Prevôts généraux recevront de l'arrivée, dans leur département, de quelqu'un des Princes & Princesses du Sang, ils enverront des

渡しつつ護衛できるように、命令を送らねばならない。

#### 第7条

フランス元帥殿の誰かが彼の管区に到着するとの連絡を受けると、プレヴォは、進路に沿って駐屯している諸班に対して、元帥の通過に立ち合うよう、命じなければならない。これは、元帥殿が滞在する場所まで班から班へと護衛を受け渡せるようにするためである。元帥殿が適当と判断するのであれば、元帥殿はその間、上級班長が指揮する1班から成る衛兵 (garde) を持つことになる。元帥殿の出発に際して、同様にプレヴォは、元帥殿の進路上にある諸班を彼の通過に立ち合わせるようにする必要がある。これは、元帥殿がプレヴォの管区を出る時まで、諸班が元帥殿に随行できるようにするためである。

#### 第8条

国王陛下は、プレヴォおよびマレシヨールセの将校全員に対して、国王の厳命によるのでなければ、いかなる人物に対してであれ、上述の規定を超えて敬意を表することを禁じられる。命令された人物以外の誰かによって何らかの敬意の表明を要求される場合には、プレヴォはその旨、フランス元帥殿と陸軍卿に報告しなければならない。

ordres pour que les brigades de Maréchaussée les accompagnent sur leur passage, d'une résidence à l'autre.

#### VII.

SUR l'avis que lesdits Prevôts généraux recevront de l'arrivée d'un des S.<sup>rs</sup> Maréchaux de France, dans leur département, ils seront tenus de donner des ordres pour que les brigades de Maréchaussée établies le long de la route, se trouvent sur son passage, pour être en état de l'accompagner d'une résidence à l'autre, jusqu'au lieu où il fera séjour, pendant lequel il aura, s'il le juge à propos, une garde composée d'une brigade, commandée par un Exempt ; & à son départ, lesdits Prevôts généraux seront tenus de faire pareillement trouver sur son passage les brigades établies sur sa route, pour être en état de l'accompagner jusqu'à ce qu'il soit sorti de leur département.

#### VIII.

FAIT défenses Sa Majesté aux Prevôts généraux, & à tous Officiers de Maréchaussée, de rendre à qui que ce soit aucuns honneurs au-delà de ce qui est fixé ci-dessus, à moins d'un ordre exprès de Sa Majesté ; & au cas que quelqu'un exige quelques honneurs, autres que ceux qui sont ordonnés, les Prevôts généraux seront tenus d'en rendre compte aux S.<sup>rs</sup> Maréchaux de France & au Secrétaire d'État ayant le département de la guerre.

## 注

- (1) ここでの王令 (édit)、王令 (ordonnance) はいずれも単数形になっており、前者は1720年3月の新マレシオーセ創設の王令、後者は1720年3月16日のマレシオーセの指揮命令系統および規律に関する王令を指すと考えられる。それぞれの条文については上記「はしがき」注(4)で示した拙稿を参照。
- (2) マレシオーセはもともと大元帥 (connétable) とフランス元帥の指揮下にあったが、彼らのマレシオーセに対する指揮権は (大元帥職は1627年に廃止)、1720年の新マレシオーセ創設王令から大革命時にマレシオーセが解体されるまで、一貫して維持された。ただし、マレシオーセの運営・管理上の最高責任者は、少なくとも1720年の新マレシオーセ以降は、フランス元帥ではなく、陸軍卿 (secrétaire d'État à la guerre) である。ゴメス・パルドによれば、イル＝ドゥ＝フランスの中隊——宮内卿の管轄下にある——を除く王国のマレシオーセの諸中隊が陸軍卿の統制下に置かれるようになるのは、ルイ14世の親政期だという。Gomez Pardo (Julian), *La Maréchaussée et le crime en Île-de-France sous Louis XIV et Louis XV*, Paris, 2012, p. 18.
- (3) 1720年5月16日の王令とされているが、1720年3月16日の王令の誤り。“mars”を“mai”に誤植したと考えられる。プレヴォの指揮権、上官への服従義務を規定したのは、1720年3月 (mars) 16日の王令である (前掲拙稿『マレシオーセの指揮命令系統及び規律に関する王令』(1720年3月16日)、70頁)。管見の限り、マレシオーセに関わる1720年5月16日の王令は存在しない。また、マレシオーセに関連する諸法令を巻末に年代順にリストアップにしたラリウの研究 (Larrieu (Louis), *Histoire de la gendarmerie depuis les origines de la maréchaussée jusqu'à nos jours*, Paris, t. II, 1933, pp. 249-258) を含め、先行諸研究でも、1720年5月16日の王令なるものは言及されない。
- (4) 同時代のマレシオーセ関連文書では通常、“officiers”は、騎馬警察隊員 (cavalier) と区別して、将校 (プレヴォ、副官) とプレヴォ裁判役人 (陪席裁判官、国王検事、書記官) を指す。しかし、当該王令では必ずしもそのように解釈できない箇所が少なからず見られる。第1編第17条では“Officiers & Cavaliers”を通常通りに解釈できるが、第1編第2条や第10条では、“Officiers”は裁判役人を含まず、将校のみを指すと考えられる。第2編第8条の“tous Officiers de Maréchaussée”も同様である。また、第1編第11条のように、文脈上、“Officiers”が班の指揮官 (上級班長、班長、班長補佐) を、“Cavaliers”が憲兵を、それぞれ指すとしか考えられない場合がある。本稿では、文脈に応じて訳し分ける。
- (5) プレヴォあるいは上官への不服従に関しては、階級、不服従の内容に応じて、停職、免職、減給、体刑などの処罰が規定されている。前掲拙稿『マレシオーセの指揮命令系統及び規律に関する王令』(1720年3月16日)、70頁。
- (6) 武官としてマレシオーセを指揮下に置くのはフランス元帥だが、文官としてマレシオーセを運営・管理するのは陸軍卿である。ただし、1760年代になると、時にフランス元帥が陸軍卿の職に就くようになる。Bély (Lucien) (sous la direction de), *Dictionnaire de l'Ancien Régime*, Paris, 1996, p. 1135.
- (7) 官職を購入した叙任者 (pourvu) はまだ官職保有者ではない。受け入れ手続 (réception) を終えて、初めて「官職保有者の身分と資格 (l'ordre et le caractère d'officier)」を得るのである。Mousnier (Roland), *La vénalité des offices sous Henri IV et Louis XIII*, 2<sup>e</sup> édition revue et augmenté, Paris, 1971, pp. 111-112. なお、コネタブリ＝マレシオーセとは、軍人および戦争に関わる事柄すべてに関して刑事と民事で裁く大元帥とフランス元帥の裁判所であって、パリ・シテ島のパレ (Palais) にある大理石法廷 (Table de marbre) を構成する裁判所の一つである。Orgeval (Gabriel, Le Barrois d'), *Le Tribunal de la Connétablie de France du XIV<sup>e</sup> siècle à 1790*, Paris, 1917 pp. 1-2.
- (8) これは、プレヴォによる隊員職の私物化、隊員の私兵化を阻止するためである。
- (9) 同王令第2条では10年間の投獄が規定されている。
- (10) このように具体的な憲兵の採用条件が規定されたのは、1720年のマレシオーセ改革以降で実はこれが初めてのことである。約173cm以上の身長という条件は、当時とすれば、かなりの厳しかったと考えられる。拙稿「18世紀前半期オート＝ノルマンディー地方のマレシオーセ隊員——年齢、身長、軍隊経験」(『西洋史学論集』第47号、2009年)、1、6～9頁。
- (11) 竜騎兵の騎乗馬の体高は、1691年11月24日の王令で、4ピエ (約129.6cm) から4ピエ2プス (約

- 135.0cm)の間と規定されていた。De Briquet, *Code militaire ou Compilation des ordonnances des Roys de France concernant les gens de guerre*, Paris, 1728, t. II, p. 171. cf. Isambert, t. XX, p. 141, No 1420.
- (12) 当該王令第6条は、プレヴォが副官および隊員を1年間に3回巡視し閲兵することを命じ、第7条は、プレヴォによる閲兵が原則として地方長官立ち会いの下で、地方長官不在の際には地方長官補佐立ち会いの下で行われることを定めている。
- (13) “double”とは通常、正本の写しのことだが、ここでは残りの2通がいずれも「もう1通(un autre)」と記されており、どれがオリジナルでどれがその写しなのか判然としない。オリジナルを2通作成し、当事者双方の手許に1通ずつ残るようにしたものを“acte bouble”という。ここでも同様にプレヴォが3通の報告書を作成して、陸軍卿、フランス元帥（元帥は複数名いるので、特定の元帥に対してではなく、コネタプリの書記局に対してと考えるのが妥当）に送付したと解釈できる。続く第11条の“double”も同様に解釈した。
- (14) 当該王令第9条は、副官は毎月、隊員を閲兵すると規定している。
- (15) これは記録上は存在するが実際には存在しない偽兵士(passe-volant)対策であると同時に、閲兵への参加が俸給支給の条件になっていることによる。
- (16) 死亡した将校・隊員の閲兵記録への記載は1768年2月25日の王令第11条、1769年12月27日の王令第12条でも改めて規定されていて、この箇所はどちらも「班の指揮官と憲兵(Officiers & Cavaliers)<sup>オールドナンス</sup>」となっている。
- (17) 管見の限り、“la Cour”という表現は、18世紀前半までのマレシヨールセ関係の法令類には見られず、この“la Cour”は宮廷・王権、あるいはコネタプリを指すと考えられる。プレヴォが婦休許可なく任地を離れることを禁止する規定は、1769年12月29日の王令第13条、1778年4月28日の王令第2編第10条でも追認されていて、前者ではこのことと同じように“la Cour”の婦休許可となっているが、後者では「国王陛下の婦休許可」となっている。Ordonnance du Roi, “Concernant les Maréchaussées” du 27 décembre 1769, S.H.D., X<sup>F</sup> 1; Ordonnance du Roi, “Concernant les Maréchaussées” du 28 Avril 1778, Archives municipales de Lille, AG102. したがって、ここでは王権による婦休許可と訳した。
- (18) 副官は俸給(appointment)の3ヶ月分が剥奪され、上級班長は免職され、班長、班長補佐、憲兵は脱走兵として処罰される、と規定されている。
- (19) “capitaine en pied”とは自分の中隊を持つ現職の中隊長のことであり、ここでは「現職の中隊長」と訳した。もはや現職ではないものの依然として俸給を支給されている「有給の(appointé)」中隊長、あるいは「兵役を解除された(réformé)」中隊長に対する語である。
- (20) 廃兵院への入所を許可された元将兵は、3つのグループに分けられる。マレシヨールセのプレヴォ、副官、および10年以上勤務した上級班長は最上級の第1階層に属する。班長、班長補佐、憲兵は、他の部隊の兵士、騎兵、竜騎兵と同様、第3階層に割り振られている。Expilly (Louis Alexandre, abbé), *Dictionnaire géographique, historique et politique des Gaules et de la France*, t. III, Amsterdam, 1764, pp. 264-265.
- (21) ここでは“entrée”を入市式とは訳さなかった。入市式は国王儀礼の1つであるが、18世紀後半においてはすでに伝統的な入市式が行われなくなっていたからである。Giesey (Ralph E.), *Cérémonial et puissance souveraine. France, XV<sup>e</sup>-XVII<sup>e</sup> siècles*, traduit en français par Jeannie Carlier, Paris, 1987, p. 76. 小山啓子『フランス・ルネサンス王政と都市社会』九州大学出版会、2006年、138~139頁、二宮宏之『フランス アンシアン・レジーム論 ——社会的結合・権力秩序・叛乱』岩波書店、2007年、296~297頁。

以下、次号。